



2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年5月10日

上場会社名 株式会社安江工務店 上場取引所 東・名
コード番号 1439 URL <https://www.yasue.co.jp>
代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山本 賢治
問合せ先責任者(役職名) 常務取締役 (氏名) 印田 昭彦 (TEL) 052-223-1100
四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第1四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	1,547	△0.5	△6	—	△6	—	△3	—
2023年12月期第1四半期	1,555	4.1	39	65.2	40	39.5	22	44.8

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 △2百万円(—%) 2023年12月期第1四半期 21百万円(42.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年12月期第1四半期	円 銭 △2.96	円 銭 —
2023年12月期第1四半期	16.82	15.97

(注) 2024年12月期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年12月期第1四半期	百万円 4,085	百万円 1,774	% 41.5
2023年12月期	4,356	1,830	40.2

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 1,694百万円 2023年12月期 1,750百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2023年12月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 40.00	円 銭 40.00
2024年12月期	—	—	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	0.00	—	40.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,475	9.0	58	△27.8	56	△29.0	25	△31.8	19.19
通期	7,730	4.5	340	1.1	336	0.5	205	0.3	155.18

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年12月期 1 Q	1,351,560株	2023年12月期	1,351,560株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	28,631株	2023年12月期	28,631株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年12月期 1 Q	1,322,929株	2023年12月期 1 Q	1,316,686株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、資源価格等のコスト上昇を販売価格へ転嫁する動きが広がるとともに、雇用や所得環境の改善を背景に個人消費も持ち直しの傾向がみられるなど、景気は緩やかな回復基調となりました。一方、円安の進行やロシア・ウクライナ情勢の長期化、中東情勢の緊迫化に伴う地政学リスクに起因した資源・エネルギー価格の高止まりなど、景気の先行きは依然として不透明な状況が続いております。

住宅業界におきましては、子育てエコホーム支援事業等の政府による後押しがあるものの、資源価格の高騰を受けた木材・住宅設備機器等の値上げによる消費マインドの低下、設計職・施工監理職など専門職技術者の人材不足など、依然として厳しい状況となっております。

このような環境下で、当社グループは「すべてのお客様に安らぐ『住まい』を提供し、一生のおつきあいをする」ことをミッションに掲げ、お客様にとって価値あるサービスが提供できるよう、住宅に関するニーズにワンストップで応え、すべての相談に乗ることができる利便性の高い体制の構築に努めてまいりました。

また、長期ビジョン「Vision2030」において当社グループの存在意義として掲げた「安らぐ『暮らし』を創造し、心豊かな社会を実現する」に向けて、2024年度を初年度とする第2次中期経営計画の基本方針「成長戦略」「質の追求と高効率戦略」「人的資本経営」を推進し、当社グループ全体の収益構造を強化するとともにさらなる企業価値の向上に取り組んでおります。

当第1四半期連結累計期間の業績につきましては、主力の住宅リフォーム事業において、リフォーム相談会等のイベント集客や引合いが堅調であったものの、不動産流通事業において反響が低調となったほか、新店開設に向けた人員増加による人件費や広告宣伝費等の増加、人材確保・定着に向けて賃上げを行ったこと等により減収減益となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は1,547百万円（前年同期比0.5%減）、営業損失は6百万円（前年同期は営業利益39百万円）、経常損失は6百万円（前年同期は経常利益40百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失は3百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益22百万円）となりました。

セグメントの業績は、以下の通りであります。

(住宅リフォーム事業)

住宅リフォーム事業におきましては、建築士などの資格を有するデザイナーによる機能性・デザイン性の高いリフォームを提供するとともに、より高度な専門性と高い付加価値を提供できるよう、外装やエクステリア、オフィスリフォームに特化した専門部署を設置してスピード感のある提案を行うなど、安定的な営業活動を展開してまいりました。加えて、当社リフォーム店舗に併設している子会社のインテリア販売拠点を活用し、住宅リフォームに家具やカーテンをセットでコーディネートするなど、グループ内のシナジーを活かしてお客様満足度の向上に努めてまいりました。

また、従来より当社の強みであるオリジナル建材の「無添加厚塗りしっくい[®]」に加え、本年1月に発売を開始したオリジナルキッチン「kostad[®]（コスタッド）」を積極的に提案するなど、他社との差別化にも注力してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、リフォーム相談会等のイベント集客や引合いが堅調であったことから、売上高は1,395百万円（前年同期比3.4%増）となりました。しかしながら、本年4月に開設した「豊川店」の人員増加による人件費の増加や、積極的な広告宣伝活動等により販売費及び一般管理費が増加したことから、セグメント利益は21百万円（前年同期比55.1%減）となりました。

(新築住宅事業)

新築住宅事業におきましては、オリジナル建材である「無添加厚塗りしっくい[®]」や、無垢の木材、薩摩中霧島壁などの自然素材を活かし、デザイン性や機能性を高めた4つの注文住宅ラインナップを揃えており、お客様のニーズに合わせた提案を行うとともに他社との差別化に注力してまいりました。また、マーケティング支援ツールを導入し、お客様ごとの興味や関心に合わせた情報提供やお客様のニーズに応じた最適な提案を行うなど、営業活動の効率化にも取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、物件の引渡しが予定通り進んだものの、前期までの受注低調の影響もあり、売上高は64百万円（前年同期比35.5%増）、セグメント損失は12百万円（前年同期はセグメント損失30百万円）となりました。

(不動産流通事業)

不動産流通事業におきましては、地域密着型の強みを活かして良質な小規模分譲地の仕入れに注力し、自社での新築注文住宅や新築分譲住宅用地として活用するなど、事業間のシナジーを発揮してまいりました。また、買取再販物件に当社グループの強みであるリノベーションやデザインリフォームをコーディネートしてお客様に提案するなど、資産価値の創造・魅力ある住まいづくりを積極的に推進してまいりました。

当第1四半期連結累計期間における当事業の業績につきましては、消費マインドの低下による不動産市況の悪化により、新築分譲住宅販売や不動産の買取再販等が低調であったことから、売上高は87百万円（前年同期比44.5%減）、セグメント損失は14百万円（前年同期はセグメント利益23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は2,729百万円となり、前連結会計年度末に比べ294百万円減少いたしました。これは主に、販売用不動産が78百万円増加したものの、現金預金が237百万円、売上債権が35百万円、未成工事支出金等が99百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は1,356百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。これは主に、のれんが12百万円減少したものの、建設仮勘定が41百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は4,085百万円となり、前連結会計年度末に比べ270百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は1,766百万円となり、前連結会計年度末に比べ159百万円減少いたしました。これは主に、短期借入金が25百万円、1年内返済予定の長期借入金が13百万円、賞与引当金が37百万円増加したものの、仕入債務が45百万円、未払金が30百万円、未払法人税等が85百万円、未成工事受入金が77百万円減少したこと等によるものであります。固定負債は545百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円減少いたしました。これは主に、長期借入金が55百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は2,311百万円となり、前連結会計年度末に比べ214百万円減少いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,774百万円となり、前連結会計年度末に比べ55百万円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純損失3百万円の計上、配当金の支払い52百万円により利益剰余金が減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の連結業績予想につきましては、2024年2月9日に「2023年12月期 決算短信」にて公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	1,235,435	997,887
完成工事未収入金	239,808	190,075
売掛金	31,189	45,545
未成工事支出金等	259,481	159,600
販売用不動産	1,215,030	1,293,597
材料貯蔵品	12,954	12,816
その他	31,619	31,219
貸倒引当金	△1,587	△1,193
流動資産合計	3,023,931	2,729,550
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物(純額)	352,978	348,121
土地	637,544	637,544
建設仮勘定	737	42,594
その他(純額)	46,343	43,125
有形固定資産合計	1,037,604	1,071,386
無形固定資産		
のれん	106,748	94,234
ソフトウェア	11,648	10,541
その他	2,067	2,067
無形固定資産合計	120,464	106,843
投資その他の資産		
投資有価証券	6,260	7,603
繰延税金資産	84,485	88,021
その他	83,572	82,444
投資その他の資産合計	174,317	178,070
固定資産合計	1,332,386	1,356,299
資産合計	4,356,318	4,085,850

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
負債の部		
流動負債		
工事未払金	411,740	361,852
買掛金	19,994	24,775
短期借入金	125,000	150,000
1年内返済予定の長期借入金	439,260	452,451
未払金	144,833	114,540
未払法人税等	95,652	10,599
未成工事受入金	455,818	377,893
賞与引当金	59,789	97,712
完成工事補償引当金	35,819	35,672
その他	137,577	140,850
流動負債合計	1,925,486	1,766,349
固定負債		
長期借入金	573,535	517,949
その他	27,200	27,350
固定負債合計	600,735	545,300
負債合計	2,526,222	2,311,649
純資産の部		
株主資本		
資本金	263,350	263,350
資本剰余金	252,680	252,680
利益剰余金	1,261,183	1,204,355
自己株式	△28,356	△28,356
株主資本合計	1,748,858	1,692,030
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,155	2,089
その他の包括利益累計額合計	1,155	2,089
新株予約権	80,081	80,081
純資産合計	1,830,095	1,774,200
負債純資産合計	4,356,318	4,085,850

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2024年1月1日 至2024年3月31日)
売上高	1,555,779	1,547,817
売上原価	1,035,232	1,029,698
売上総利益	520,547	518,119
販売費及び一般管理費	480,798	524,470
営業利益又は営業損失(△)	39,748	△6,351
営業外収益		
受取利息及び配当金	8	8
売電収入	357	312
補助金収入	570	320
その他	906	659
営業外収益合計	1,841	1,300
営業外費用		
支払利息	586	967
売電費用	276	215
支払手数料	340	21
その他	72	250
営業外費用合計	1,276	1,454
経常利益又は経常損失(△)	40,314	△6,505
特別利益		
固定資産売却益	18	883
特別利益合計	18	883
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	40,332	△5,622
法人税、住民税及び事業税	23,189	2,235
法人税等調整額	△4,998	△3,946
法人税等合計	18,191	△1,710
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,141	△3,911
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	22,141	△3,911

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	22,141	△3,911
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△170	933
その他の包括利益合計	△170	933
四半期包括利益	21,971	△2,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,971	△2,977

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,349,628	47,838	147,154	1,544,622	—	1,544,622
その他の収益	—	—	11,157	11,157	—	11,157
外部顧客への売上高	1,349,628	47,838	158,312	1,555,779	—	1,555,779
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	29	—	29	△29	—
計	1,349,628	47,868	158,312	1,555,809	△29	1,555,779
セグメント利益又は損 失(△)	46,812	△30,215	23,152	39,748	—	39,748

(注) 1. 売上高の調整額△29千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報ならびに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額	合計
	住宅リフォーム 事業	新築住宅事業	不動産流通 事業	計		
売上高						
顧客との契約から生 じる収益	1,395,154	64,816	76,634	1,536,605	—	1,536,605
その他の収益	—	—	11,212	11,212	—	11,212
外部顧客への売上高	1,395,154	64,816	87,847	1,547,817	—	1,547,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	37	27	—	64	△64	—
計	1,395,192	64,843	87,847	1,547,882	△64	1,547,817
セグメント利益又は損 失(△)	21,036	△12,647	△14,740	△6,351	—	△6,351

(注) 1. 売上高の調整額△64千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失(△)の金額の合計額は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と一致しております。